

本郷地区センター 指定管理者事業計画書

申込年月日 平成27年7月21日

団体名	特定非営利活動法人 さかえ区民活動支援協会		
代表者名	理事長 磯崎保和	設立年月日	平成21年9月15日
団体所在地	栄区桂町279-29 横浜市栄公会堂 内		
電話番号	045(894)8771	FAX番号	045(894)9423

さかえ区民活動支援協会は、平成21年9月に前身である栄区区民利用施設協会からNPO法人として設立し、地区センターなどの運営管理をつうじて、生涯教育の推進、健康スポーツ事業などの自主事業や、地域交流、まちづくりの推進を図る様々な事業に取り組んできました。

経営方針に、「全ては地域や区民のために」を掲げ、今後も、地元に着目し、地域や利用者との信頼と絆を大切にしながら、区内の貴重な地域資源や蓄積した運営ノウハウを活かし、区民の交流と支えあいを積極的に支援して、地域のつながりによる更なる発展を目指します。

理事長 磯崎 保和

沿革

- ・平成7年4月1日 栄区区民利用施設協会 設立
区と地元が主導して設立した団体で、地域のコミュニティ、文化・スポーツ活動の拠点として、地区センターやコミュニティハウス・こどもログハウスなどの管理運営を行い、一筋に地域の様々な活動を支援してきました。地区センターやコミュニティハウスで実施する自主講座などから新たなグループが数多く誕生しており、生きがいづくりや環境保全などの課題に主体的に取り組んだり、地域の歴史を学び郷土愛を育む契機にするなど様々な活動が行われています。
- ・平成21年9月15日特定非営利活動法人 さかえ区民活動支援協会(以下「支援協会」)設立
組織としての責任の明確化を図り、地域の活動・交流を支援して、より触れ合いのある快適な地域社会を実現するため、法人格を持つ支援協会を設立しました。
栄区区民利用施設協会が培ってきた地域や利用者との絆を大切にしながら、平成23年4月1日から指定管理者として、栄区内の地区センターやコミュニティハウスなど9カ所の指定管理施設・受託施設の管理運営を行っています。「地元に着目し、地域とともに生きる」支援協会が一体的に運営することで、その役割を担っています。
併せて、栄公会堂・栄スポーツセンターを横浜市体育協会と共同で運営しています。

業務内容

- ① 地区センター・老人福祉センター・こどもログハウス・コミュニティハウス等の管理運営
- ② 地域交流の支援
- ③ まちづくりの支援

本郷地区センターまつり
(地域交流の場)



栄公会堂でのあらかるとコンサート
(日頃の活動成果発表の場)



担当者 連絡先	氏名	所 属	事務局長	
	電話	045(894)8771	FAX	045(894)9423
	Email	[Redacted]		

(1) 応募団体に関すること

- ア 応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について
- イ 応募団体の業務における本郷地区センター指定管理業務の位置づけ
- ウ 応募団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

ア 応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について

経営方針

- ① だれもが何度も利用したくなる、魅力ある施設を目指します。
- ② 地域の自主的な活動を支援し、活力ある地域づくりに貢献します。
- ③ お客様ニーズをすばやく捉え、サービス向上につなげます。
- ④ 行政と協働し、施策とタイアップした事業を展開します。
- ⑤ コスト意識を徹底し、効率的な運営を実行します。

さかえ区民活動支援協会は、地区センターやコミュニティハウスの運営を通じて、地域交流やまちづくりの推進、地域コミュニティの活性化を図り、「全ては地域や区民の皆さまのために」積極的な貢献をします。

〈業務概要〉

本郷地区センター・豊田地区センター・上郷地区センターのほか、老人福祉センター横浜市翠風荘、横浜市桂山公園こどもログハウス、コミュニティハウス（4カ所）の9施設の一体的な管理運営を行っています。平成26年度には、約41万人の利用がありました。

併せて、公益財団法人横浜市体育協会と共同で、栄公会堂・栄スポーツセンターを運営しています。

〈主要業務〉

- ① 施設の管理運営
- ② 自主事業などの実施による区民の活動支援・生涯学習活動の支援・地域交流の推進

〈特色〉

支援協会の役員には、栄区連合町内会・栄区シニアクラブ・栄区文化協会・青少年指導員協議会など区内の主要な活動団体の代表の皆様が就任していただいておりますので、地域の実情に合わせた適切な事業運営が可能です。支援協会が3地区センターなどを一体的に運営することで、連携事業が実現でき、点から面的な広がりをもった相乗効果を発揮しています。

イ 応募団体の業務における本郷地区センター指定管理業務の位置づけ

本郷地区センターは、昭和48年8月に横浜市の地区センターの中で2番目に開館し、40年を超える長い歴史があります。活動団体は、設立以来、活動歴が20～30年をわたる団体や、毎年斬新なアイデアで実施している自主事業から誕生したフレッシュな団体まで新旧250を超す団体が活動中です。

平成26年度の部屋稼働率は61.6%で市内上位（80館中14位）に位置しています。

このような実績から、本郷地区センターは“古くて新しい館”として、市内の地区センターの中で先駆的な役割を担ってきた施設であり、地域連帯の促進や活力ある地域活動の支援を業務としている支援協会にとって、区を中心に位置する重要な施設であります。

引続き指定管理者として、これまで蓄積してきたノウハウをさらに充実させ、他の地区センターやコミュニティハウスとも連携して、地域の自主的活動を支援し、相互交流を深め、地域力を高めることに全力を上げてまいります。

ウ 応募団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

- ① 地区センター利用者数(26年度)27万人 稼働率60.9%（横浜市平均53.5%）18区中3位。
- ② 栄公会堂・栄スポーツセンターの共同運営を通じて、地域の文化事業、交流や健康づくりを推進しました。
- ③ 現在、運営している施設の総数は、次の10施設です。

現在管理運営している主な施設名	所在市区名	業務開始年月	業務区分
横浜市本郷地区センター	横浜市栄区桂町 301	平成7年4月1日	施設の管理運営
横浜市豊田地区センター	横浜市栄区飯島町 1368-1	平成7年4月1日	〃
横浜市上郷地区センター	横浜市栄区上郷町 1173-5	平成18年5月1日	〃
老人福祉センター横浜市翠風荘	横浜市栄区野七里 2-21-1	平成18年4月1日	〃
横浜市桂山公園こどもログハウス	横浜市栄区桂台中 16-1	平成7年4月1日	〃
横浜市飯島コミュニティハウス	横浜市栄区飯島町 1863-5	平成19年5月1日	〃
横浜市上郷矢沢コミュニティハウス	横浜市栄区桂台南 2-34-2	平成25年3月1日	〃
本郷小学校コミュニティハウス	横浜市栄区中野町 16-1	平成7年4月1日	〃
庄戸中学校コミュニティハウス	横浜市栄区庄戸 3-1-1	平成9年4月19日	〃
栄公会堂・栄スポーツセンター(JV事業)	横浜市栄区桂町 279-29	平成23年4月1日	〃

(2) 本郷地区センター管理運営業務の基本方針について

- ア 設置目的、区政運営上の位置付け
- イ 地域特性、地域ニーズ
- ウ 公の施設としての管理

ア 設置目的、区政運営上の位置付け

設置目的	<p>■活力ある地域づくりに貢献します。</p> <p>■地域交流を促進します。</p>	<p>地域活動の拠点として、文化・芸術・生涯学習・スポーツなどさまざまな活動を支援し、活力ある地域づくりに貢献します。</p> <p>斬新な自主事業を展開するとともに、行政情報や地域情報など、多くの情報を収集・発信することにより地域交流を促進します。</p>
区政運営上の位置付け 区の基本目標 『みんなの心ひとつに、みんなのカひとつに・・・』		<p>①区の基本目標を地域交流の促進ととらえ、地域活動の支援を通じて行政目標を実現します。</p> <p>②行政と協働し、セーフコミュニティや高齢者対策など施策とタイアップした事業を展開するとともに、行政情報を地域に発信し、区政運営の促進につなげます。</p>

イ 地域特性、地域ニーズ

JR 本郷台駅から近く交通利便性に恵まれ、区役所・区民文化センター・公会堂など栄区の公共施設が集積しており、人が集まりやすい地域です。

館がある桂町をはじめ、近隣には公田町、鍛冶ヶ谷町といった町名や鎌倉街道が縦断していることから歴史ある地域です。栄区のシンボルリバーであるいたち川が横断し、荒井沢市民の森も近く、歴史と自然に彩られた地域であります。

地区センター利用エリアの世帯数は約 14,700 世帯、約 36,000 人(区民の 3 割)が居住しています。年代別では昭和 40 年代に開発された地域では高齢化率が 50%を超えており、幹線道路沿いの地区には子育て世帯が居住し、区平均の 27.9%を下回っています。

〈地域ニーズ〉

〈地域ニーズへの対応〉

■参加型事業で多世代と交流がしたい。

昔からの地区と駅周辺の新興住宅地区、高齢者と若い世代といった、多地域や多世代間での交流が求められています。

■身近でできる健康づくりに参加したい。

健康への関心が高まっており、安く・近く・手軽に参加できる健康づくりの場が求められています。

■地域の情報を身近な場所で得たい。

行政情報や地域の団体の活動状況などホットな情報が高齢者や子育て世代から求められています。

(地区センターが立地する本郷中央地区の声)



■参加しやすい環境を整備します。

歴史や防災など、地域・世代を超えた共通の話題をテーマとした事業を展開します。子育て世代が参加しやすいよう、一時保育施設との連携をします。

■地域の健康づくりに貢献します。

運動、食育、生きがい、といった、多方面から健康づくりへ、アプローチする自主事業を実施します。

■最新情報をわかりやすく提供します。

地区センターは最新の行政情報、地域情報を収集・発信する場として、地域のコミュニケーションを良くし、助け合いの精神風土の醸成に寄与します。

ウ 公の施設としての管理

「地区センターでは最も身近な“公の施設”である。」との認識で、地域交流の場として誰もが気軽に何度でも利用したくなるような「お客さま本位」の管理・運営をします。

- ① 全てのお客さまが公平・公正にご利用できる運営を行います。
- ② 年間の管理計画を策定し、お客さまが快適にご利用できるよう、常に施設を清潔で良好な状態に維持・管理をします。
- ③ 区防災計画により「地域避難所」として選定された場合、積極的に地域住民の避難所としての活用を進めます。

当地区センターには、豊富な運営ノウハウの蓄積があります。今後も、地域の期待や時代の要請に応え、地域に貢献するため、区と協議しながら、柔軟な運営を行うとともに、お客さまの笑顔が見られる信頼性の高い運営を目指していきます。

(2) 本郷地区センター管理運営業務の基本方針について

エ 接客・接遇

オ セーフコミュニティさかえ

エ 接客・接遇

本郷地区センターでは、ご来館いただくお客さまそれぞれに、快適にご利用していただくことを常に念頭に、以下のことを全員が心にとめながら業務に携わっています。

◆お客さま対応で基本的に実行していること◆

- 館内の掃除を徹底し、お客様を気持ち良く迎えます。
- 明るい笑顔と、ていねいな言葉づかいで接します。
- お客さまの話をしっかり聴き取り、予約手続きは迅速に行います。
- 業務に関する専門知識を深め、わかりやすい説明をします。
- お客さまの気持ちをくみ取り、おもてなしの心を持って接します。

- 窓口対応はお客さまと同じ目線で、全員で行います。
- お客さまから見渡すことのできる職場を、常に明るく、活気のある、働きやすい雰囲気には保ちます。

職場全体が接客スペース



オープン形式の受付窓口をフルに活用し、最重要ポイントと位置付けます。

◆サービスマインドを持ったスタッフへ更なるレベルアップ◆

- お客さまの心をプラスに変えていく接遇スキル【第一印象・挨拶・所作・動作・タブー・etc】を身につけるため ⇒ スタッフ全員が「サービス接遇検定資格の取得」を目指します。

※平成 27 年度から希望する職員に、支援協会が受験料等を負担し受験する制度を新設

オ セーフコミュニティさかえ〈国際認証都市〉

平成 26 年度に実施された区民アンケートでは「特に力を入れてほしい要望項目」として①防犯対策 ②病院や救急医療、地域の保健・病気予防対策 ③高齢者への福祉 ④防災対策などが上位を占めています。これらは正に、セーフコミュニティが掲げる 7 つのテーマに合致しています。同時に地区センターは、その設立主旨から、これらの事業を推進する中核的な施設であるといえます。行政と協働し、「セーフコミュニティ」の国際認証都市にふさわしい地域づくりに貢献します。

◆協働による行政目標の実現へ◆

- ①地区センターは、以下に掲げるセーフコミュニティの施策に沿った自主事業や支援事業を積極的に展開し、区民の継続的な安全・安心につなげます。

セーフコミュニティのテーマ	本郷地区センターでの取組み又は支援事業の一部
01 地域での見守り活動	放課後の“学習支援教室”で小・中学生を見守ります。
02 運動競技中の事故・けが防止	“トランポリン教室”や“ストレッチ教室”で運動機能を強化。
03 交通安全の取組	館外で行う事業の中で、交通マナーも学びます。
04 児童虐待の早期発見・対応	“母子のカレーランチ”や“あそびの広場”で子育てを応援。
05 高齢者の転倒・転落予防	“グランドゴルフ”など高齢者が外出・活躍する機会を促進。
06 地域防災拠点訓練	“地域が地区センターでサバイバル訓練”など直結した事業。
07 自殺予防	“一人暮らしの高齢者への給食サービス”を支援します。

- ②平成 26 年度のアンケートの中で、セーフコミュニティ認知度は約 2 割にとどまっています。

そのため、地区センターとして広報の充実・強化を積極的に行い、セーフコミュニティの考えを広く浸透させ、区民の安全・安心への意識の醸成に寄与していきます。

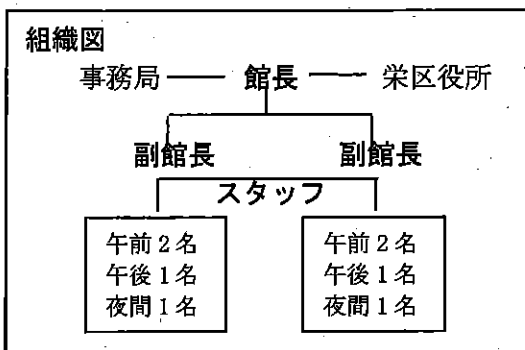
- 館が発行する“地区センターだより”や自主事業のチラシにはすべてに PR コンテンツを活用します。
- 「栄区情報配信サービス」(区民への防災・防犯等安全に関するリアルタイム電子メールサービス)の登録推進を PR し、区民の安全・安心をバックアップします。
- 館内外へ「のぼり旗」や横断幕の設置、HP やツイッターなどあらゆる媒体を活用し、広報を強化します。
- 「センターまつり」や「栄区制 30 周年記念事業」などイベントでは積極的な広報活動を実施します。



(3) 組織体制

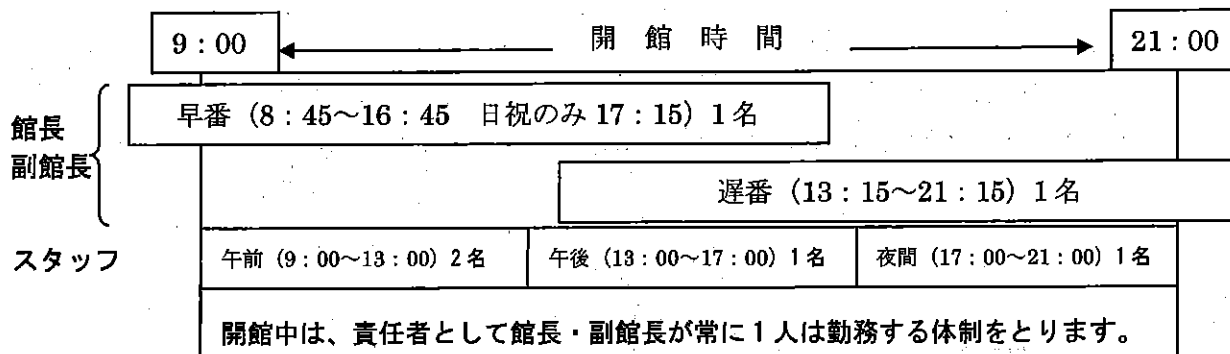
ア 管理運営に必要な組織、人員体制

■ お客様サービスを第一に、安全・安心・快適にご利用いただけるレベルを安定的に維持でき、かつ最小人数で最大効果を発揮する人員配置をします。
人員および勤務体制は以下のとおりです。



- ①館長(1人)・副館長(2人) ⇒早番・遅番のローテーション勤務(週休2日指定休)
- ②スタッフ職員(8人) ⇒ 午前2名、午後1名、夜間1名を単位とする、2グループでのローテーション。各、4時間単位の3交代勤務。

⇒ 計11人名での少数精鋭体制



■ 勤務の交代時には、書面による引継ぎを漏れなく行い、運営状況の共有化を徹底します。

■ 業務時間は日曜・祝日の閉館時刻(17時)を区と協議し、1時間延長を検討します。

業務内容及び必要な職務能力

職種	職務分担	必要とする職務能力・雇用条件
館長	管理運営の総括責任者 (施設の防火管理者) ・ 職員の指導監督、利用者団体調整、区役所及び地域との協議 ・ 事業計画、予算管理など	地域活動の支援に熱心で、統率力・調整能力があり、利用者から信頼される誠実な人柄であること。また、自治会町内会等地域組織や区役所との連携ができる。
副館長	館長の補佐(館長不在時の代行) ・ 受付等窓口サービス、利用料金、庶務、経理の支出手続業務 ・ 自主事業の企画実施、広報、統計など	お客さまに気配りと明るく親切な対応ができる接遇能力があること、スタッフ職員を適切に指導できること、事務処理能力・事業の企画・立案・広報に長けており、お客さまのニーズを的確に把握し、反映できる。
スタッフ職員	運営実務の中核 ・ 受付、案内、物品貸出、図書貸出、会議室清掃、など ・ お客様へ窓口でのご案内、など	地域性を考慮し、近隣の在住者で、笑顔が素敵な明るく・誠実・迅速な対応ができ、お客さまが快適に過ごして頂ける環境づくりが出来るとともに、教育・福祉などの資格・経験についても考慮する。

スタッフは地元採用を推進します。専門知識を深め、お客さまにわかりやすい説明と、おもてなしの心をもって接することが出来るよう、スキルアップを図ります。

協会事務局が、地区センターのバックアップ体制をとり、事務を統括します。日頃から、栄区役所、区内施設、関係機関との連携・調整、情報交換を行い、各館の円滑な運営を支えています。現在のこの体制を堅持して、安定的な管理運営を継続していきます。

(3) 組織体制

イ 個人情報保護等の体制と研修計画

1 個人情報の保護とその他の法令順守に関する体制について

「個人情報保護法」、「横浜市個人情報の保護に関する条例」や「さかえ区民活動支援協会個人情報保護方針(プライバシーポリシー)」などの規則に基づき、適切に対処します。

- 1) 個人情報の保護を支援協会の責務とし、その取扱いについては、個人情報資料の厳正な保管(業務終了後、必ず施錠)・散逸防止を図ります。
- 2) お客様の個人情報の収集は必要最小限にとどめ、二次使用は一切行わず、団体が登録を取り消した場合は、その段階で情報は廃棄します。
- 3) 全職員対象の全体研修会(年2回)や新規採用者研修(3月)で周知徹底を図ります。
- 4) 「個人情報保護方針」を館内に掲示して、お客様のご理解とご協力をお願いするとともに、常に、職員が意識して個人情報を取扱うことを徹底します。

2 職員の研修計画について

◆多様化するニーズに適切に対応するため、求められる職務能力◆

- 笑顔で、ていねいな言葉づかいが出来る。
- お客様との約束を守り、対応や手続きが迅速に出来る。
- 業務に関する専門知識を深め、わかりやすい説明が出来る。
- お客さまの気持ちをくみ取り、おもてなしの心を持って接することが出来る。

スタッフ全員がサービス接遇検定資格の取得を目指します。

※サービス接遇検定の取得制度

さらに、個人情報保護等、常にコンプライアンスを意識して、公平公正な対応を徹底します。こうした視点に立ち、地区センターでは、職場研修(OJT)を基本に、次の研修を実施します。

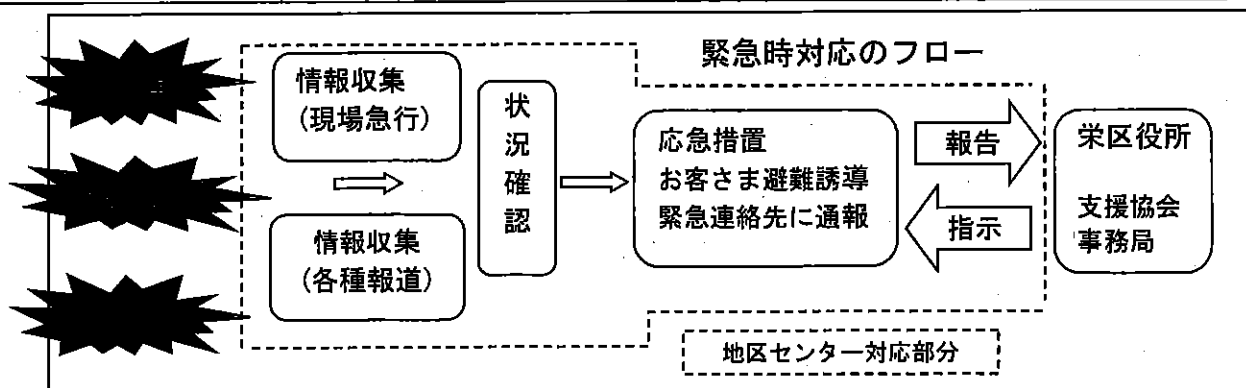
館内集合研修	地区センターの職員を対象に、個人情報保護や人権及び日常業務の進め方の確認等について、研修を行います。	
スキルアップ研修	館長・副館長が中心となり、お客様サービス向上や職員のスキルアップを図るため、職場内研修(OJT)で話し合いを継続実施します。	年3回 (休館日に実施)
サービス接遇検定資格	スタッフ全員がサービス接遇検定資格の取得を目指します。 ※サービス接遇検定:(公財)実務技能検定協会主催、文部科学省後援	受験年2回
防災研修 (防災避難訓練)	消防署より講師を招いた訓練を実施し、緊急対応・AED機器の取扱い等を確認し、万全の体制を整えます。	年2回
新規採用者研修	新人職員を対象に、業務内容・接遇・危機管理・個人情報保護・人権啓発等の研修を実施し、4月からの業務に備えます。	3月 (4日程度)
全体研修会	協会の全職員に対し、個人情報保護、接遇対応、サービス向上、人権啓発、事故防止、区事業等の研修を行い、お客様が安全・安心・快適に利用できる施設運営を行います。	年2回
館長会議	事務局及び全館長の業務情報の共有化により、事務処理の効率化・運営上の課題等について意見交換を実施。	年12回 (月例)
副館長会議	副館長については、四半期ごとに課題検討や情報交換を行い、事務処理の効率化・質的向上を図ります。	年4回程度
外部団体研修	区民活動センター主催研修、ハマふれんど主催スキルアップ研修、など	随時参加

その他、横浜市が開催する生涯学習支援講座、施設管理研修等へ積極的に出席して、知識の習得に努め、施設運営に反映させます。

(3) 組織体制	
ウ 緊急時の体制と対応計画	
<p>■ お客さまが常に安心・安全、快適に、ご利用いただけるよう、緊急時に備え万全な体制を準備します。</p> <p>■ 災害時には、二度の大震災の教訓を踏まえ、来館者等の安全を第一に行動します。</p>	
1 防犯、事故予防対策	
1) マニュアルの共有化	防犯対策マニュアルを作成し、緊急時の対応の仕方を全職員に徹底し、適宜研修を実施することにより緊急時に備えます。
2) 緊急連絡先の掲示	緊急連絡先や全職員の連絡体制を事務所内のわかりやすい場所に掲示し、初期対応を速やかにします。
3) 館内を定期巡視	館内を定期的に巡視し、不審者・不審な物の早期発見に努め、事件・事故を未然防止します。
4) 危険予知の徹底	バリアフリー未整備のため、日頃から事故事例情報により危険を予知し、危険要因を事前に除去します。
5) ホットラインの活用	警察署に近いこと、消防署との合築施設であることの長所(直通電話など)を生かし、日常的に連携することにより、不審事案の未然防止や災害発生時の早期解決ができる体制をとります。

2 防災対策

1) 立地条件を活かした地域避難所	当館は標高 18mに位置し、周囲が平坦な立地条件にあるため、津波・土砂災害のハザードマップの対象外です。そのため、区より「地域避難所」としての指定を受けた時は、積極的に対応がとれるよう、常時から職員の役割分担・各部屋の利用計画を立て、非常時に備えます。
2) 経験を活かした地震対策	東日本大震災の経験を踏まえ、陶芸室の作品棚、3階倉庫物品棚、閲覧コーナーの本棚等、不安定な設備や備品に対し、落下・転倒防止対策を強化します。市内で震度4以上を感知した場合、全館点検を実施し、区役所、事務局へ速やかな状況報告を行います。お客さまの安全な避難誘導に備えます。
3) 風水害対策へ身近な避難場所として活用	ラジオ・テレビ等の防災情報を的確に把握し、お客さまの安全を第一に考え、区役所と調整を図りながら迅速に対応します。 当館は駅からの通勤・通学途上に位置しているため、台風・強風・豪雨といった通常の風水害に対しても一時的な避難場所として活用してもらいます。
4) 防火管理者の取得	館長は防火管理者の資格を取得し、防災計画、消防計画を作成します。
5) 各種講習の受講	消防署との合築施設というメリットを生かし、日頃から講師を招いた訓練・研修を行い、緊急対応・AED機器の取扱い等を習得し、万全の態勢を整えます。
6) 「Wi-Fi」の開放	災害時には、無線LAN「Wi-Fi」を無料開放して、避難者の連絡手段に提供します。
7) 自動販売機の設置	災害対応型自動販売機を設置します。



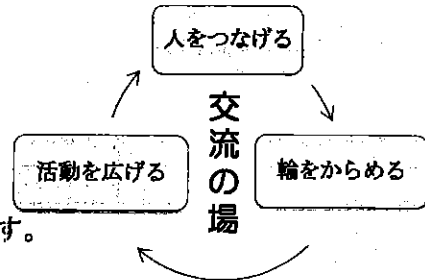
(4)施設の運営計画

- ア 設置理念を実現する運営内容
- イ 利用促進策

ア 設置理念を実現する運営内容

《設置理念》

人をつなぎ、人の輪をからめ、活動を広げる交流の場の中心に地区センターを位置づけます。



■運営にあたり本郷地区センターでは4つのコンセプトをかかげます。

◆本郷地区センターの業務運営コンセプト◆

1 活動拠点にするところです

会議室や和室また調理室やロビーを拠点に、さまざまな地域活動や地域交流を促進します。

2 事業に参加するところです

館が多様なイベントや講座を主催し、どなたでも自由に参加・交流ができます。

3 情報を発信・収集するところです

行政情報や地域のイベント、団体の紹介や募集のポスター、チラシの掲示・閲覧により地域情報を発信・収集できます。

4 さまざまなサービスが受けられます

図書の貸出し、子育て相談、健康づくり、コピー機、印刷機、裁断器やパンチなどさまざまなサービスを提供します。

イ 利用促進策

現状分析

■区役所・駅・病院にも近く、区の中心に位置し、創立42年目を迎える地区センターであり、地域になくはない中核施設としてしっかり根付いており、地域との良好な関係が築かれています。
 ■お客さまの年代構成をみると65歳以上が58%と圧倒的に多く、地域においてもこの年代層が年々増加傾向です。この年代層のお客さまを大切にするとともに、若い年代層の利用促進を図ることが今後の最大の課題と捉えています。
 ■立地条件を活かし、駅までの通勤・通学などの通りすがりに気軽に立ち寄れる施設づくりに努め、利用者増に向けて、様々な取り組みを展開します。

利用促進メニュー

1 魅力ある事業と広報の強化	地域に密着し、時代を先取りした魅力ある事業を展開します。ツイッターやHPで空き情報、募集状況など、館の情報をリアルタイムで発信し、幅広い世代を新規に取り込みます。
2 一時託児サービスの実施	子育て世代の館利用や自主事業への参加を促進するため、近隣の一時保育施設と連携し、若いお母さんなどの活動をサポートします。
3 出前広報、出前アンケートの実施	区民まつり、駅広イベント、ケアプラまつり等で積極的に出前広報やアンケートを実施して、新規利用者層を掘り起こします。
4 稼働率アップメニュー	和室を使った落語、講談などの話芸の入門講座を開催します。防音に配慮した上で、会議室を軽音楽活動に利用してもらいます。人気の料理教室の回数を増やします。
5 区の読書活動推進事業との連携	子育て支援事業で”読み聞かせ”事業を増やします。
6 インターネット接続サービス	無線 LAN (Wi-Fi) を整備し、全ての会議室でIT関連の活動ができるよう、利便性を向上させます。
7 気軽に立ち寄れる施設	「よこはまウォーキングポイント」リーダーの設置や、運動系事業を「よこはま健康スタンプラリー」の対象とし、来館機会を増やします。
8 交流サロンの設置	「ロビーコンサート」や「本郷ふれあいカフェ」を定期開催します。
9 営業時間の延長	日曜・祝日の閉館時間(17時)を区と協議のうえ1時間延長を検討します。

栄区誕生30周年記念イベントの実施 他地区センター等と連携して「30周年記念ウォークラリー」などを特別企画するとともに、「昭和61年歌謡大会」などを開催します。

(4)施設の運営計画

ウ 利用料金の設定について (※地区センターのみ該当)

ウ 利用料金の設定について

*本郷地区センターにおける各部屋、時間帯ごとの料金表を以下に示します。

施設名	1階会議室	工芸室	1号会議室	2号会議室	料理室	大集会室	和室(全面)	和室(半面)	陶芸室(全面)	陶芸(半面)
3時間料金	750円	510円	540円	750円	420円 (2時間)	510円	570円	290円	210円	110円
1時間料金	250円	170円	180円	250円	210円	170円	190円	100円	70円	40円
ご利用の傾向	エレベーターのない当館で、1階の2部屋は稼働率が高くなる傾向がある。	小会議等での利用が多い。	館の奥にあり音漏れ等他への影響は少ない。	特定団体と自主事業が多い。	多目的な利用で高稼働率・高収入	茶道、着物着付け、箏、小会議など利用は幅広い。	陶芸団体に安定して、利用されている。自主事業による利用もある。			

* 利用料金につきましては、平成17年7月1日に横浜市が市民利用施設の運営に受益者負担の考え方を導入して以来、区の試算による1平方メートル当りの貸付単価をもとに、各部屋の面積ごとに算出した利用料を適切に設定しております。

部屋利用と料金の考え方

利用者層を配慮したご案内により増収につなげます。

■創立42年目を迎える施設で、館内のバリアフリー化や音対策が十分でないため、予約時の窓口で、お客さまの年代層や音楽活動、スポーツ活動など利用形態を考慮したご案内を行い、現況施設を有効利用することにより増収につなげます。

目的別によるご案内で利用率を上げ、増収を図ります。

■大集会室については、正式な体育室がないため、大会議室・体育室・音楽室を兼ねた多目的にご利用されています。今後も幅広い活用で、高稼働率(H26実績90%)を維持します。

■2号会議室については面積も比較的広く、音漏れの影響も少ないので、軽音楽やダンス等の音楽系や運動系など、多少音の出る活動にもご利用いただき、稼働率を向上させます。

NPO法人の責務として地域への還元も図ります。

■「横浜市地区センター利用条例施行規則」に基づき、横浜市の主催・共催事業や子育て支援、学習支援、高齢者支援などの目的に沿った事業の利用には、優先的に対応し、事業を支援します。

こうした事業に対しては、NPO法人の責務として、地域への還元を念頭に、料金については、内容により10割または5割の減免対応で、事業を支援します。

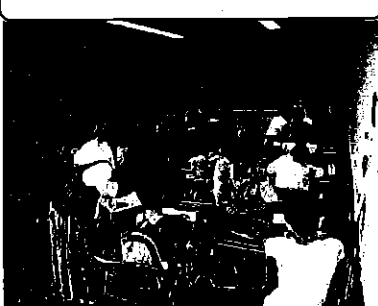
本郷地区センターが支援している主な事業の状況

子育て支援



「幼児とお母さんのカレーミーティング」

小中学生への学習支援



学校の先生OB(ボランティア)による「放課後学習教室」

高齢者支援



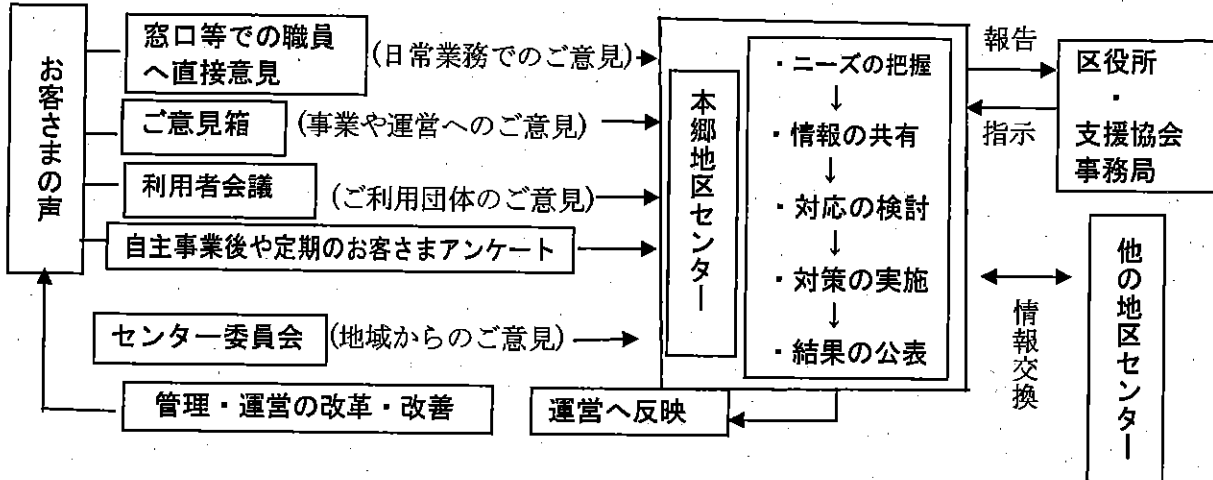
「一人暮らしの高齢者への給食サービス」

(2)施設の運営計画

- エ 利用者ニーズの把握と運営への反映
- オ 利用者サービス向上の取組み
- カ ニーズ対応費の使途

エ お客さまのニーズの把握と運営への反映

◆あらゆる機会を捉えて、お客さまのニーズを把握し、管理・運営に反映します。◆



オ 利用者サービス向上の取組み

■館全体に“にぎわい”がうかがわれ、散歩のついでや、駅までの通りすがりに気軽に立ち寄ってみたい、という気持ちにさせる館を目指します。

①	窓口対応を最重要ポイントに	お客さまとの最初の接点である窓口対応を、運営の再重要ポイントと位置付けます。■笑顔と丁寧な言葉づかい。■お客さまとの約束を守り、対応は迅速に。■業務知識を深め、わかりやすい説明をする。■お客さまの気持ちをくみ取り、おもてなしの心を持って接する。
②	「一時託児サービス」の実施	「一時託児サービス」により子育て中の方々の利用・参加を促進します。
③	お客さまの立場にたった柔軟な館の運営をします。	地域や区のイベント等に際し、区と協議のうえ、開館時間外の館利用を行います。(実施例、①区民まつりへの協力、料理室を午前6時から開放、②栄公会堂2014年6月ワールドカップサッカーパブリックビューイング)
④	インターネット接続サービス	無線 LAN(Wi-Fi)を整備し、全ての会議室でのインターネット接続サービスを実施します。
⑤	よこはまウォーキングポイント事業への参加	読取機を窓口を設置し、健康づくりを支援します。
⑥	「ご近所図書館」の開設	図書コーナーを充実させ、愛称を「ご近所図書館」とします。
⑦	ボランティア登録制度の新設	ボランティア(シニアや中高生)の参加機会の拡大をはかります。
⑧	「本郷られあいカフェ」の実施	ロビーコンサートや気軽に参加できる交流サロンを実施します。
⑨	営業時間の延長	お客様の声を確認し区と協議の上、日曜・祝日の延長を検討します。
⑩	自動販売機のメニュー充実	菓子、軽食類も導入し、メニューを充実させます。
⑪	アウトリーチ活動	区民まつり、駅前広場イベント、ケアプラまつり等への出前広報を行うとともに、所属サークルのアウトリーチ活動を支援し、新規のお客さまを掘り起こします。

カ ニーズ対応費の使途について

- ニーズ対応費の趣旨に即し、お客さまの利便性・快適性の向上につながるように使用します。
- ご意見箱や、日々窓口寄せられる要望に柔軟に対応し、お客さまにとって利用しやすい館にするための執行に努めます。
- 具体的には、地区センターまつりの運営経費をはじめ、会議室椅子机等什器類の更新、CDラジカセ、LED照明への更新、図書の購入など、お客さまの利便性・快適性を向上させるために支出します。

(4) 施設の運営計画

キ 本市重要施策に対する取組

横浜市中期4か年計画及びよこはま笑顔プランに掲げられた施策や栄区セーフコミュニティ活動推進計画を自主事業や館の運営に取り入れ、市・区の施策に沿った事業を計画的に進めます。

1. 子育てを自主事業で応援します。

■幼児から3才児まで月齢別に子育て支援者の指導で“手遊び”や“読み聞かせ”をしながら絵本との付き合い方の体験をしてもらい子育て応援事業を展開します。■毎週行われる“子育て相談”や“カレーランチミーティング”を全面的に支援し、地域の子育てを積極的に応援します。

■子育て世代の事業への参加促進のため、一時保育施設と連携し、参加しやすい環境を整備します。

2. シニアパワーの発揮を促します。

■シニアが活躍する活力ある地域社会の拠点となるよう、シニア層を支援します。企画運営の「ボランティア登録制度」を新設し、シニアなどの社会参加機会を拡大します。

■シニア層で結成された劇団による演劇を主催、シニアパワーを発信し、地域のシニア層を応援します。

■また、三世交流グランドゴルフ大会やファミリー茶会を開催し、世代間の交流事業を展開します。

■地域の福祉団体の行う、高齢者昼食会を全面的にバックアップし、一人暮らし高齢者の方々の地域交流や見守りの場とします。

3. 370万人の健康づくり事業とタイアップします。

■健康寿命日本一を目指した健康づくりに協力し、いち早く窓口に「よこはま・ウォーキングポイント」の読取機を設置しました。■「栄区歴史ウォーキング」を企画します。区内施設と共催で健康づくりに貢献する「施設めぐりウォークラリー」を企画実施します。■館が実施する事業のうち健康に関わる事業をすべて「よこはま健康スタンプラリー」の対象事業にノミネートします。

SC事業 あそびの広場

4. 栄区のセーフコミュニティ(SC)事業と連携します。

■当地区センターの自主事業や支援事業は、7つのテーマと深く関わっています。たとえば“あそびの広場事業”＝「児童虐待発見」

“高齢者昼食会”＝「自殺防止」、「高齢者の転倒予防」など

各テーマに沿った自主事業を積極的に展開します。



5. 栄区読書活動推進計画に沿った事業を推進します。

■地域の読書活動を活性化させるため、栄図書館や他の読書関連施設との連携のもと、情報共有を進め、区民の読書環境の充実を進めていきます。

■読書の日、読書活動推進月間等を活用して読書活動の拡大を図ります。

6. 緑の保全と創出事業との協働及び環境への配慮を促します。

■栄区は、緑への要求レベルも高くなっています。こうした区民の期待に応えるため、専門の講師による庭木から樹木一般に関する取扱い講座を企画します。■「横浜みどりアップ計画」に沿った事業を進め、ヨコハマ3R夢(スリム)プランに基づく3R行動を地域と連携して実施します。

7. 館の運営面で市の施策とタイアップします。

■人権尊重を基本に据えた館の運営

年齢、性別、障害に関わりなく全てのお客さまに対して平等に接することがサービスの基本であると考え、人権尊重を最優先した館の運営を行います。人権については、年2回以上の研修を実施しています。

■情報公開、個人情報の保護

お客さまが必要とする情報を可能な限り公開するとともに、個人情報の保護についても、法令・規則及び協会の個人情報保護方針(プライバシーポリシー)にそって適切に対応します。

■市内中小企業への優先発注

横浜市内中小企業振興基本条例にそって、近隣の市内中小業者に優先発注します。また“地区センターまつり”では、まつりの趣旨に沿って地域の企業を応援し、ブースの提供をします。

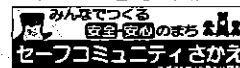
■公共施設の保全・更新・長寿命化

当地区センターは、創立42年目を迎え、どの施設よりも日常の点検・診断が重要です。安全で快適にご利用いただくため、きめ細かい日常点検を行うと同時に、ご利用されるお客さまの目線から発せられる声をいち早く捉え、改良・修繕をして、施設の長寿命化につなげます。

(5) 自主事業計画

1 自主事業のスタンス

- 地区センターは地域活動の拠点であり、地域の幼児から高齢者まで多世代が趣味やスポーツ・レクリエーションなどの活動を通じ、地域交流が促進されることを目的としています。
- 自主事業は、この目的達成のため、館の設置理念である「人をつなげる、輪をからめる、活動を広げる」をコンセプトに企画・立案します。
- 地域に密着した自主事業を大切にすることにより、地域の交流・活性化へつなげる、その活動の場の中心に地区センターを位置づけます。
- 企画にあたっては、地域を歩き、地域のみなさんと話す中から地域密着型の斬新なアイデアを探します。
- 実施後には、必ずアンケートによりお客さまの生の声を伺い、次の事業に活かしていきます。
- セーフコミュニティの施策に沿った自主事業を積極的に展開します。



設置理念に基づく事業計画と効果

《人をつなげる》

幼児から高齢者までが、幅広い年代層が参加し、地域とのつながりが深まる。地域交流のお手伝いをします。

《輪をからめる》

多くのサークルが立ち上がり、未永く地区センターで活動し、安定したご利用団体になり、活動の輪がからまるような好循環を目指します。

《活動を広げる》

若者の流行や他館の情報等、常にアンテナを高くし、時代の流れを先取りした、幅広い事業を展開し、活動範囲を広げます。

地域に密着した事業で、地域とのつながりと、世代間交流が深まる事業を展開します。

- ・本郷歴史ばなし
- ・栄区の地産・地消で行楽弁当
- ・本郷歴史ウォーク
- ・栄区誕生当時の歌謡大会 など 18 事業



実施後に行うアンケートの参加者の生の声や、利用者会議からも幅広く意見を取り入れ、次の事業計画に生かします。

- ・フルーツ初心者クラス
- ・赤ちゃんスタンプング
- ・はじめての陶芸体験
- ・住まいの修繕教室 など 13 事業



活性化のお手伝いとして、団体と協力した共同事業やセーフコミュニティなど行政の施策とのコラボで、活動の幅を広げます。

- ・ファミリー茶会
- ・三世代で身につく防災知識
- ・シニア演劇
- ・風邪気味の時の薬膳料理 など 17 事業



事業効果

さまざまな事業により、趣味や生きがいがいくつくりの、お手伝いが出来、参加された皆様が地域とのつながりや交流が深まり、地域が活性化される。(地区センターの設置目的)

2 実施にむけて

- 四季おりおりの行事にあわせた季節感の創出や、全体的な事業バランスを考慮して、年間計画をたてます。
- 館内外のポスター掲示、HP やツイッターなど、あらゆる媒体を利用するほか、近接の公会堂やスポーツセンターなどで、アウトリーチ(出張)での広報活動を行います。
- 参加者の作品展示コーナーを設け、満足感と参加意欲を高めるとともに、来館者への直接 PR を働きかけます。
- チラシや“センターだより”のデザインなど、PR の質を高め、企画への期待感を持っていたらき、多くの参加者を募ります。

クリスマス料理講座



栄区制 30 周年記念特別企画

平成 28 年の栄区誕生 30 周年記念に向けた事業を展開します。

- ・栄区ふるさと検定【3館共同事業】
- ・施設めぐりウォークラリー【3館共同事業】
- ・3館対抗スポーツ大会【3館共同事業】
- ・栄区誕生当時の歌謡大会
- ・本郷地区の近代史シンポジウム

(6) 施設の維持管理計画

1 建物・設備等の保守管理、補修計画、清掃計画

施設の維持管理については、お客様が快適に安心してご利用いただけることを第一に、計画性と
きめ細かい配慮で施設の維持管理を行います。

〈維持管理の方針・効率化の工夫〉

① お客様が安全・安心・快適に施設利用が出来るよう、常に施設を良好な状態に保ちます。

横浜市の「公共建築物簡易点検」のガイドラインに従って施設点検を実施し、建物の異常の
有無をチェックし、異常個所の早めの発見と対処により常に施設をベストの状態に保ちます。

② 館内清掃の徹底をはかります。

開館以来 42 年目を迎え、施設の老朽化をカバーする意味からも、常に清潔に保つことが重
要であると考えます。

全員が、どんな小さなごみや汚れも見逃さず、館内清掃の徹底を図ります。パブリックスペ
ースは委託による日々清掃のほか、館全体の清掃ワックス掛けを月 1 回実施します。各部屋
については、利用直後に点検を実施し、異常・汚れ等を早期に発見し対応します。

③ 館職員直営の修繕ノウハウの蓄積を生かし、維持管理を効率的に実施します。

施設の多くの箇所や備品に、老朽化に伴う破損箇所が見受けられます。そこで、軽微な小
破修繕については、速やかに職員が直営作業による補修を行っており、そのノウハウは、延々
と蓄積されたものがあり、即応態勢と経費節減に努めます。

(段差解消ブロック・直営)

④ 常にコスト意識をもって維持管理にあたります。

修理にあたっては、汎用品や省エネ製品を用いることによって、
コストダウンを図ります。発注にあたっては、協会運営の他施設も
含めてスケールメリットを生かしてまいります。



2 保安警備関係

火気点検および施錠については各部屋の使用終了時に一度職員がチェックし、閉館直前に別の
職員が「終業時のチェックリスト」に基づき再確認するというダブルチェックを行います。また、
消防署との合築施設であることから、消防署と連携（ホットラインの活用）しながら防犯・防災
に努めてまいります。

3 平成 26 年度の施設のおもな維持管理実績

項目	業務	内容	実施状況
電気設備	空調機及び冷暖房機器保守点検	フィルター及び空調ファン清掃	年 4 回実施
	電気工作物保安点検	自動ドア、リフト点検	年 4 回実施
設備	ウォータークーラー水質点検	水質検査	年 1 回実施
建物等	消防設備点検	非常灯等定期点検	年 2 回実施
	建築基準法 12 条点検	施設点検	年 1 回実施
清掃等	日常清掃	パブリックスペースは委託、各部屋及び事務所は直営で実施	毎日実施
	定期清掃	各部屋及び事務所スペースの床(洗浄、ワックス)、ガラス清掃	床清掃は月 1 回、ガラス清掃は年 2 回
保安関係	施錠、防火管理	部屋利用終了時、および終業時に別の職員によるダブルチェック	毎日実施

(7) 収支計画(収入計画)

ア 収入計画の考え方について

イ 増収策について(※地区センターのみ該当)

ア 収入計画の考え方について

指定管理料に頼りすぎることのないよう収入増に努めます。各部屋の稼働率向上による利用料金収入の増や維持管理にかかるコスト削減、自主事業参加費の受益者負担、自動販売機・印刷機等の設置による自主財源の確保により、安定した収入を確保して、利用者サービスの向上に還元します。

◎ 以下の主な方策を中心に収入増を目指します。

■サービス向上により、お客様増につなげ、稼働率向上から利用料金の増収につなげます。

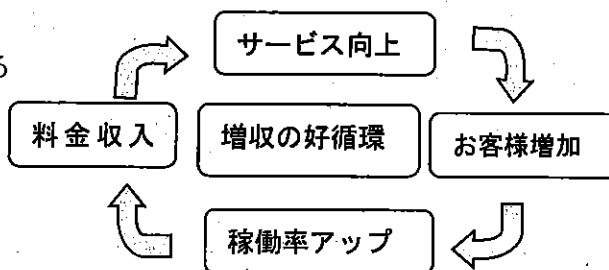
お客様満足度の向上に努め、リピート客の増加による稼働率向上の好循環につなげます。

■自主事業の参加者増と受益者負担により、増収につなげます。

魅力ある自主事業の企画・広報→参加者増と、同時に内容に応じた受益者負担をお願いします。

■新たな収入源を確保します。

区内の演劇や音楽などの友好団体が主催するイベントの入場券販売に協力し手数料収入や、自動販売機のメニューを増設することにより、増収につなげます。



イ 増収策について

以下の様々な方策により、利用者増への好循環つなげ、増収を目指します。

① 活動団体の積極的な紹介PRを行い会員増に協力し、活動を活性化します。

- ・毎年5月に栄公会堂で“あらかるとコンサート”を主催し、活動団体を広く紹介します。
- ・“地区センターまつり”では各団体の活動成果を広く区民に見てもらい、活動を応援します。
- ・タッチパネル端末で活動団体の内容、会員募集状況などの情報を広く提供します。
- ・館内に活動団体の作品展示コーナーを設け、活動を応援し、活性化につなげます。

② 館主催事業の積極的な広報・支援で、自主事業への参加者増を目指します。

- ・近接の公会堂やスポーツセンターなどでのアウトリーチ(出張)広報を行います。
- ・館内・外にポスター・チラシの掲出、HPやツイッターなど幅広い広報活動を行います。
- ・自主事業の参加者に内容に応じた受益者負担をお願いします、増収をめざします。
- ・自主事業から独立したグループには、一定期間、部屋の優先利用を認め、活動を応援します。

③ 子育て中のお母さん方を呼び込みます。

- ・地域の「一時保育事業所」と提携し、子育て中の若いお母さん方の館の利用や、事業参加の利便を図ります。また、館主催事業のポスター、チラシの掲示を依頼し、利用を促進します。

④ 各種サービスの向上により雑収入を増やします。

- ・自動販売機メニューの増や、印刷機まわりの利便性の向上等によりお客さまの増加を図り、収入増につなげます。
- ・各種の友好的な文化・芸術団体のチケット販売に協力し、手数料収入の増を図ります。

⑤ スポンサーシップの実現

- ・広告ポスターを館内外に掲示、HPバナーによる広告掲載を検討します。

⑥ 部屋の空き情報を登録団体に伝えて、利用促進を図ります。

- ・抽選後の空室を減らすため、登録団体にツイッターなどで情報を提供し、利用促進に努めます。

⑦ 自販機のメニューを増やします。

- ・現在の清涼飲料に加え、パン、スナックのメニューを加え、増収につなげます。

(7) 収支計画(支出計画)

ウ 支出計画の考え方について

〈基本的な考え方〉

- NPO法人の設立主旨を常に念頭に、営利よりお客さまサービスの向上など、お客さまへの還元を第一に効果的に支出します。
- 地区センターの設置目的である利用者の相互交流・地域交流が活発に行われるサービスの提供を使命と考え、支援協会の「経理規程」にしたがって適切に予算執行を行います。
- 利用者の安全・安心に配慮し、これに関する経費については最優先に支出して、最善の対応をします。
- 以下に示すとおり、メリハリのきいた予算支出を行い、増収分は、サービス向上や記念事業などで、お客さまに還元していきます。

栄区制 30 周年などの記念事業に対しては、予備費(支援協会)から自主事業費に追加で増額します。

1 予算支出の特徴

①人件費

地区センターの運営は、いかにお客さま満足度の向上と効率的な運営を両立させるかが最大の課題です。

このため、職場研修(OJT)を中心に職員・スタッフのたゆまぬレベルアップで、最少人数で最大効果を上げる少数精鋭体制により人件費の抑制を図りつつ、サービス向上を目指します。

②自主事業

地域活動の拠点であり、地域の交流促進を設置目的とする地区センターにおいて、主催する自主事業はその中核をなす業務です、そのため魅力ある自主事業の企画・実施に向けては、予算の重点的な支出を行います。

③施設管理

当館は設立後 42 年目を迎え、バリアフリー未整備のための安全管理、老朽化に伴う施設の維持・修繕が欠かせません。お客さまの安全・安心を第一に配慮し、快適にご利用いただけるような施設管理のため、重点的に支出をします。

④お客様の声

日々窓口寄せられる、お客さまの声や、事業実施後のアンケートなど、お客さま目線を大事にします。お客さまから、要望のあった自主事業の実施や、図書・備品の購入については優先度を考慮して、積極的な対応をします。

⑤発注・購入にあたっての考え方

修繕工事や物品購入を発注する場合には、市内中小業者を優先し、市内経済活性化に寄与します。契約にあたっては、区内 10 施設を管理しているグロスメリットを生かし、価格交渉にのぞみます。

2 経費節減のおもな実績

- 職員が対応可能な修繕は、自ら実施し、修繕費用の削減を図ります。
(H26 実績:調理室シンクからの水漏れ修理、和室障子張り替え、会議室テーブル天板修理、物品庫収納棚設置、会議室椅子用ラック設置、段差誘導手摺設置、工芸室ブラインド設置・等々)
- 室内温度の適正管理・不要な照明のスイッチをこまめに切り、節電に努めます。効果的な個所には、人感センサースイッチを取り付けます。
- 消耗品・事務用品等の在庫管理を適正に実施します。
- 裏紙利用や、旅費節減のため徒歩・自転車利用を促進します。
- 印刷機等の更新時には、リースの費用などで、費用対効果の高い選択を行います。

計画的な維持管理により総経費の増加を抑え、無理のない増収策と経費節減の工夫により、指定管理料の上限額を 2%削減します。

また、余剰金があった場合は、当 NPO 法人の責務として、お客さまや地域の皆さまに還元してまいります。

本郷地区センター自主事業計画書

(様式3)

団体名 特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たりの参加費		指定管理料から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
1 地域の人をつなげる事業							
(趣味・いきがい事業)	一般						
プロに学ぶ庭木の手入れ (全6回) (地域の植木屋さんとのコラボ)	20人 2,000円	94,000	54,000	40,000	54,000	31,000	9,000
(地域を知る事業)	一般						
栄区の地産・地消で行楽弁当 (地域の食材店とのコラボ)	20人 500円	19,000	9,000	10,000	9,000	10,000	0
(地域を知る事業)	一般						
本郷れきしばなし	50人 0円	10,000	10,000	0	10,000	0	0
(趣味・いきがい事業)	一般						
アートで部屋に季節を飾る ～和紙で作るタペストリー(全2回)	20人 500円	22,000	12,000	10,000	12,000	10,000	0
(趣味・いきがい事業)	一般						
はじめてのミシン ～入園前のグッズづくり～(全2回)	10人 500円	17,000	12,000	5,000	12,000	5,000	0
(趣味・いきがい事業)	一般						
皮小物を作る ～自分だけのストラップ～(全2回)	20人 500円	20,000	10,000	10,000	10,000	10,000	0
(地域を知る事業)	一般						
本郷地区の近代史シンポジウム	50人 0円	15,000	10,000	5,000	10,000	5,000	0
(地域を知る事業)	一般						
ふるさとの川、いたち川を学ぶ (全2回)	30人 100円	23,000	17,000	6,000	12,000	2,000	9,000
(地域を知る事業)	親子						
地域が地区センターでサバイバル 訓練(栄消防署とのコラボ)	20組 500円	10,000	0	10,000	0	1,000	9,000
(趣味・いきがい事業)	一般						
栄区誕生当時の歌謡大会	30人 0円	12,000	9,000	3,000	9,000	3,000	0
(趣味・いきがい事業)	一般						
栄区歴史ウォーキング	30人 100円	16,000	13,000	3,000	6,000	1,000	9,000
【栄区制30周年記念特別企画】	自由						
施設めぐりウォークラリー (3館共同事業)	0円	0	0	0	0	0	0
					協会予備費充当		
【栄区制30周年記念特別企画】	自由						
栄区ふるさと検定 (3館共同事業)	0円	0	0	0	0	0	0
					協会予備費充当		

本郷地区センター自主事業計画書

(様式3)

団体名 特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会

事業名	①募集対象 ②募集人数 ③一人当たりの参加費	自主事業予算額						
		総経費	収入		支出			
			指定管理料から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他	
【栄区制30周年記念特別企画】	自由							
3館(豊田・本郷・上郷)対抗スポーツ大会(バドミントン大会・卓球大会)	0円	0	0	0	0	0	0	0
(趣味・いきがい事業)	一般							
はじめての陶芸体験 (全2回)	10人 500円	20,000	15,000	5,000	15,000	5,000		0
(趣味・いきがい事業)	一般							
夏祭り直前～今年はやかたデビュー (全2回)	10人 500円	14,000	9,000	5,000	9,000	5,000		0
(趣味・いきがい事業)	一般							
寄せ植えづくり	15人 1,600円	40,000	16,000	24,000	16,000	24,000		0
(趣味・いきがい事業)	一般							
落語入門講座	30人 100円	12,800	10,000	2,800	10,000	2,800		0

2 活動の輪をからめる事業

(趣味・いきがい事業)	一般							
フルーツ初心者クラス (全4回)	12人 300円	38,400	24,000	14,400	24,000	14,400		0
(趣味・いきがい事業)	一般							
住まいの修繕教室 ～大工道具&制作～	12人 200	9,600	6,000	3,600	6,000	3,600		0
(趣味・いきがい事業)	一般							
住まいの修繕教室 ～壁紙～	12人 200円	9,600	6,000	3,600	6,000	3,600		0
(趣味・いきがい事業)	一般							
年賀状作り	20人 100円	10,000	6,000	4,000	6,000	4,000		0
(趣味・いきがい事業)	一般							
文芸評論発表会	50人 200円	19,000	9,000	10,000	9,000	10,000		0
(幼児対象事業)	親子							
キグちゃんのおそびの広場	20組 0円	7,000	7,000	0	7,000	0		0
(幼児対象事業)	親子							
絵本の読み聞かせ教室	20組 0円	7,000	7,000	0	7,000	0		0
(幼児対象事業)	親子							
親子のトランポリン体操	20組 0円	7,000	7,000	0	7,000	0		0

団体名 特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会

事業名	①募集対象 ②募集人数 ③一人当たりの参加費	自主事業予算額					
		総経費	収入		支出		
			指定管理料から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
(幼児対象事業) 赤ちゃんスタンプング	親子 20組 200円	11,000	9,000	2,000	9,000	2,000	0
(幼児対象事業) 親子で七夕づくり ～2・3歳児～	親子 20組 200円	10,000	6,000	4,000	6,000	4,000	0
(幼児対象事業) はじめての防災トランプ ～3・4歳児～	親子 20組 100円	9,000	7,000	2,000	7,000	2,000	0
(学習支援事業) 小・中学生の書き初め教室 ～小・中学生～	小・中生 15人 100円	9,000	6,000	3,000	6,000	3,000	0
(国際理解事業) 異国の料理と文化を学ぶ	一般 15人 600円	21,000	12,000	9,000	12,000	9,000	0

3 地域の活動を広げる事業

(世代間交流事業) ファミリー茶会 ～本席、立礼席、子供お点前席～	一般・シニア 25人 100円・300円	22,000	12,000	10,000	12,000	10,000	0
(世代間交流事業) 3世代で遊んで身につく 防災知識	一般・シニア 30人 0円	9,000	6,000	3,000	6,000	3,000	0
(世代間交流事業) 三世代交流イベント ～グランドゴルフ～	一般・シニア 20組 100円	10,000	6,000	4,000	0	1,000	9,000
(鑑賞事業) クリスマスコンサート	一般・シニア 50人 100円	25,000	20,000	5,000	20,000	5,000	0
(鑑賞事業) シニア演劇	一般 50人 200円	25,000	15,000	10,000	20,000	5,000	0
(健康増進事業) 楽しいストレッチ教室	一般 10人 400円	16,000	12,000	4,000	12,000	4,000	0
(健康増進事業) アロマテラピー	一般 10人 600円	15,000	9,000	6,000	9,000	6,000	0

本郷地区センター自主事業計画書

(様式3)

団体名 特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たりの参加費		指定管理料から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
(食育事業)	一般						
季節を楽しむ家庭料理 ～春の味覚～	15人 600円	18,000	9,000	9,000	9,000	9,000	0
(食育事業)	一般						
味噌できれいになる。 ～初心者向けの味噌づくり～	15人 600円	18,000	9,000	9,000	9,000	9,000	0
(食育事業)	一般						
風邪ぎみの時の薬膳料理 ～冬の味覚～	10人 600円	18,000	12,000	6,000	12,000	6,000	0
(学習支援事業)	小学生						
夏休み自由研究	15人 400円	16,000	10,000	6,000	12,000	4,000	0
(学習支援事業)	小学生						
はじめての陶芸体験 (全2回)	30人 200円	18,000	12,000	6,000	12,000	6,000	0
(食育事業)	小学生と父親						
父の日の贈り物	8組 750円	16,000	10,000	6,000	12,000	4,000	0
(食育事業)	小学生						
キッズキッチンくらぶ パスタ	15人 200円	16,500	12,500	4,000	12,000	4,500	0
(食育事業)	小学生						
キッズキッチンくらぶ パン	15人 250円	15,700	11,000	4,600	12,000	3,700	0
(趣味・いきがい事業)	一般						
敬老の日～スクラップブックング～	20人 300円	12,400	7,500	5,000	8,400	4,000	0
(趣味・いきがい事業)	一般						
クリスマスリースづくり	20人 400円	17,000	9,000	8,000	9,000	8,000	0
48事業(62講座)		800,000	500,000	300,000	492,400	262,600	45,000

本郷地区センター自主事業別計画書(単票)

(様式4)

団体名 (特非)さかえ区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(趣味・いきがい事業)	目的	実施時期
プロに学ぶ庭木の手入れ (全6回)	市の「横浜みどりアップ計画」に沿い、地域の緑化やボランティアに役立てるために庭木の手入れの基礎を地域の植木屋さんから学びます。	1月 2月
	内容	回数
地域の植木屋さんとのコラボ	プロの職人から剪定方法や病害対策などの基礎知識を学び、実習をします。	6回
みどりアップ計画		


事業名	目的・内容	実施時期・回数
(地域を知る事業)	目的	実施時期
栄区の地産・地消で行楽弁当	地域の農産物について学びながら地域の食材で行楽弁当を作ります。	11月
	内容	回数
地域の食材店とのコラボ	栄区内の農家で栽培された農産物を使つての料理教室で行楽弁当を作り、地域の味覚を味わうと共に、地場農業について学ぶ講座です。	1回


事業名	目的・内容	実施時期・回数
(地域を知る事業)	目的	実施時期
本郷れきしばなし	鎌倉時代から幕府と関係の深かった本郷地区の歴史について学び、地域の文化交流の場とします。	4月
	内容	回数
	中世の歴史を中心に、地元の郷土史家のお話を聞き、地域の歴史や、公田、鍛冶ヶ谷といった地名の由来、鎌倉街道の歴史を学びます。	1回


事業名	目的・内容	実施時期・回数
(趣味・いきがい事業)	目的	実施時期
アートで部屋に季節を飾る。 ～和紙で作るタペストリー～	ユネスコの無形文化遺産に選ばれた和紙で初級のタペストリーを作り、簡単な部屋飾りにします。	10月
	内容	回数
	ユネスコに無形文化遺産に選定され、注目を浴びている和紙を使い、初心者向けのタペストリーをつくり、部屋を季節感のある自作の作品で飾ります。	2回

本郷地区センター自主事業別計画書(単票)

団体名 (特非)さかえ区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(趣味・いきがい事業)	目的	実施時期
はじめてのミシン～入園前のグッズづくり(全2回)	ミシンを使った経験のない若いお母さん向けに、お子さんの小物の作品を作ってもらいます。 	3月
	内容 幼稚園入園を控えたお子さんを持つ、若いお母さん向けの講座、巾着、絵本入れ、上履き入れなど、入園後に必要な簡単な作品をミシンで作ってもらいます。	回数 2回



事業名	目的・内容	実施時期・回数
(趣味・いきがい事業)	目的	実施時期
皮小物を作る～自分だけのストラップ(全2回)	初心者に皮細工の楽しさを知ってもらいます。 	10月
	内容 初心者向けの皮小物作り講座で、世界に一つしかない自分だけのストラップを作ってもらいます。	回数 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(地域を知る事業)	目的	実施時期
本郷地区の近代史シンポジウム 栄区制30周年記念事業	軍施設～接收と戦争を前後して、激変した本郷地区の近代史を地域の「かたりべ」からお話を聞きます。 	10月
	内容 地元の郷土史家に戦前・戦後の本郷台周辺の変遷について、体験を中心にお話を聞き、地域交流をはかります。	回数 1回



事業名	目的・内容	実施時期・回数
(地域を知る事業)	目的	実施時期
ふるさとの川、いたち川を学ぶ(全2回) よこはま健康スタンプラリー	栄区のシンボルリバーである、いたち川について学ぶ。	5月 10月
	内容 いたち川の上流から下流まで、ガイドの説明を聞きながら、河川改修の歴史から、いたち川の生態系までを学びます。	回数 2回


本郷地区センター自主事業別計画書(単票)

団体名 (特非)さかえ区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(地域を知る事業)	目的	実施時期
地域が地区センターで サバイバル訓練 栄消防署とのコラボ 	地区センターが地域避難所になった場合の現地訓練を栄消防署の署員の指導で体験します。 	1月
	内容 大災害時、地区センターが地域避難所になったことを想定し、消防署の指導で実際に給食訓練や非常宿泊訓練を行います。	回数
		1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(趣味・いきがい事業)	目的	実施時期
栄区誕生当時の歌謡大会 栄区制30周年記念事業	栄区が分区・誕生した昭和61年のなつかしい流行歌を歌い、当時の時代を振り返ります。	10月
	内容 昭和61年前後に流行していた歌を全員で歌い、エピソードを聞きながら当時を懐かしみ、地域交流の場とします。	回数
		1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(趣味・いきがい事業)	目的	実施時期
栄区歴史ウォーキング よこはま健康 スタンプラリー 	栄区に多くある、史跡や神社、お寺を実際に歩いて訪ね、歴史や暮らしに関心をもってもらいます。 	10月
	内容 コース説明や目的地の歴史的背景の講義を受けた後に、コースに沿ってウォーキングをします。	回数
		1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【栄区制30周年記念】	目的	実施時期
特別企画 施設めぐりウォークラリー (3館共同事業) よこはま健康 スタンプラリー 	栄区制30周年記念事業として実施します。 一定の期間に地域のさまざまな場所を再発見しながら、区内を楽しく歩いていただきます。	未定
	内容 地区センター3館が連携し、さらに区や区内公共施設と連携して実施します。一定の期間に区内の各施設のスタンプを集め、ゴールで完歩賞を受け取ります。	回数
		1回

本郷地区センター自主事業別計画書(単票)

(様式4)

団体名 (特非)さかえ区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【栄区制30周年記念】	目的	実施時期
特別企画 栄区ふるさと検定 (3館共同事業)	栄区制30周年記念事業として実施します。 栄区の歴史や文化などに関して出題します。 栄区制30周年を契機に、栄区のすばらしさを広く知っていただきます。	未定
	内容	回数
	参加者に、栄区の歴史、文化や地域の難問題にチャレンジしていただきます。 一定の成績以上の方に「栄区ふるさと検定認定証」を交付します。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【栄区制30周年記念】	目的	実施時期
特別企画 3館(豊田・本郷・上郷) 対抗スポーツ大会 (バドミントン大会・卓球大会)	栄区制30周年を記念して、同じ種目で活動している3館のサークル間の交流を図ります。 (バドミントン大会・卓球大会)	平成28年11月下旬
	内容	回数
	日頃、それぞれの地区センターで活動している団体(バドミントン・卓球)に参加を呼びかけて大会を開催します。	各1回

よこはま健康
スタンプラリー



事業名	目的・内容	実施時期・回数
(趣味・いきがい事業)	目的	実施時期
はじめての陶芸体験 (全2回)	地域の陶芸団体の協力を得て、初歩の陶芸を学び、自分の作品を作る体験をします。	9月
	内容	回数
	陶芸団体の指導で、土をこね、手びねりで形をつくり。その後色付けも行い、思い思いの器や小物を作陶します。	2回



事業名	目的・内容	実施時期・回数
(趣味・いきがい事業)	目的	実施時期
夏祭り直前 ~今年はゆかたデビュー (全2回)	ゆかたの着付けを学び、地域の夏祭りへの、ゆかたデビューを目指します。	7月
	内容	回数
	夏祭りシーズンにあわせ、ゆかたの着付けをマスターし、ゆかたデビューにチャレンジしてもらいます。	2回



本郷地区センター自主事業別計画書(単票)

(様式4)

団体名 (特非)さかえ区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(趣味・いきがい事業)	目的	実施時期
寄せ植えづくり みどりアップ計画	「横浜みどりアップ計画」に沿い、家庭で簡単にできる、寄せ植えづくりを学び、地域の緑化につなげます。	6月
	内容	回数
	春の草花でベランダや玄関を飾る、寄せ植えの作り方と育て方を学ぶ講座です。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(趣味・いきがい事業)	目的	実施時期
落語入門講座	地域のアマチュア落語家を講師に招き、落語を通じて話芸を学びます。	3月
	内容	回数
	まちの落語家から話芸を学び、日常生活に生かします。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(趣味・いきがい事業)	目的	実施時期
フルート初心者クラス (全4回)	手軽で、やさしい音色で人気のある楽器のフルートを楽しめるようになる、初心者向けの講座です。	4月
	内容	回数
	地域の方を対象にフルートの入門体験の講座を開催します。	4回


事業名	目的・内容	実施時期・回数
(趣味・いきがい事業)	目的	実施時期
住まいの修繕教室 ～大工道具&制作～	大工道具の使い方の基礎を学び、自宅の手入れや修繕に実際に役立てていただき、簡単な作品も作ってもらいます。	7月
	内容	回数
	大工道具の使い方の基礎を学び、植木鉢カバーを作ります。	1回


本郷地区センター自主事業別計画書(単票)



(様式4)

団体名 (特非)さかえ区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(趣味・いきがい事業)	目的	実施時期
住まいの修繕教室 ～壁紙～	簡単なふすまや壁紙の張り替えの技術を学んで、自宅の手入れや修繕に役立ててもらいます。	12月
	内容	回数
	ふすまや壁紙の張り替えの基礎を学ぶ講座です。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(趣味・いきがい事業)	目的	実施時期
年賀状作り	年賀状作りを通じて地域の方の交流の場をつくれます。 	12月
	内容	回数
	年始のご挨拶にいつもと違う手作りの年賀状を作って送る講座です。	1回


事業名	目的・内容	実施時期・回数
(趣味・いきがい事業)	目的	実施時期
文芸評論発表会 読書推進事業	栄区の「読書活動推進計画」に沿い、まちの文芸評論家を講師に招き、個人カラーの出た、文芸評論を展開していただきます。 	10月
	内容	回数
	まちの文芸評論家に特定の作家や作品について評論会で発表してもらい読書の楽しさを知ってもらう、事業です。	1回


事業名	目的・内容	実施時期・回数
(幼児対象事業)	目的	実施時期
キグちゃんのおそびの広場 	月齢に合った遊びを通して、身体と心の育成をする講座です。 	4月
	内容	回数
	子育て支援者の指導で、遊びの中で楽しみながら身体を動かすことによって、運動機能、感覚機能、思考能力の発達を促していく。	1回


本郷地区センター自主事業別計画書(単票)


(様式4)

団体名 (特非)さかえ区民活動支援協会


事業名	目的・内容	実施時期・回数
(幼児対象事業)	目的	実施時期
絵本の読み聞かせ教室 読書推進事業 	お母さんが、子育て指導者の下で子供に絵本の読み聞かせをしながら、本に親しんでもらう。	5月
	内容	回数
	子育て支援者の指導で、紙芝居や物語の読み聞かせで本の楽しさになじんでもらう。	1回


事業名	目的・内容	実施時期・回数
(幼児対象事業)	目的	実施時期
親子のトランポリン体操 	トランポリンを使った親子体操で、運動機能を高め、事故防止につなげます。	6月
	内容	回数
	トランポリンを使い、遊びの中で楽しみながら身体を動かすことによって、運動機能、感覚機能、思考能力の発達を促していく事業です。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(幼児対象事業)	目的	実施時期
赤ちゃんスタンプング 	子供さんの将来の記念に、小さかったころの足形をスタンプ形式で“ママ名刺”作品に残します。	7月
	内容	回数
	生後4ヶ月～2才児を対象にお母さんが将来の記念にお子さんの足形から“ママ名刺”を作り、公園デビューに使う、お遊びです。	1回


事業名	目的・内容	実施時期・回数
(幼児対象事業)	目的	実施時期
親子で七夕づくり。 ～2、3歳児～ 	親子で七夕を作り、将来の夢をはぐくんでもらいます。	7月
	内容	回数
	親子で七夕を作り、短冊に将来の希望や夢を描いてもらいます。	1回

団体名 (特非)さかえ区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(幼児対象事業)	目的	実施時期
はじめての防災トランプ ～3・4才児～ 栄消防署とのコラボ 	消防署員の指導でトランプをしながら防災知識を学びます。	9月
	内容 防災知識をわかりやすい、イラストと説明文でトランプを作り、親子で防災知識を身につけます。	回数 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(学習支援事業)	目的	実施時期
小・中学生の書き初め教室 ～小・中学生～	小学生・中学生に書き初めを通じて書道に親しんでもらいます。 	1月
	内容 書道団体の応援で小・中学生を対象に、書き初め教室を開き、書道に親しんでもらいます。	回数 1回


事業名	目的・内容	実施時期・回数
(国際理解事業)	目的	実施時期
異国の料理と文化を学ぶ	食を介して異国の文化を学びます。	7月
	内容 外国人講師による異国の家庭料理の実習・会食をしながら、その国の文化や習慣について話しを聞き学びます。	回数 1回



事業名	目的・内容	実施時期・回数
(世代間交流事業)	目的	実施時期
ファミリー茶会 ～本席、立礼席、 子供お点前席～	日本の伝統文化を家族や世代間で親しみます。 	3月
	内容 初心者や子供も気軽にお茶を体験できるよう、和室での本格的な茶席と子どもお点前席を設けいろいろな楽しみ方のできる茶会を行います。	回数 1回

本郷地区センター自主事業別計画書(単票)


(様式4)

団体名 (特非)さかえ区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(世代間交流事業)	目的	実施時期
3世代で遊んで身につく 防災知識 	それぞれの体験を話しながら、世代間で防災知識を共有します。	1月
	内容	回数
	親・子・孫それぞれの世代で違う災害に関する体験や知識を、防災インストラクターの指導で楽しく共有します。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(世代間交流事業)	目的	実施時期
三世代交流イベント ～グランドゴルフ～ シニア活躍のまち 	小学生と保護者世代、シニア世代がグランドゴルフを通じ、三世代交流を深めます。 	10月
	内容	回数
	シニアクラブの協力で三世代がグランドゴルフを楽しんだあと、カレーランチで楽しく思い出に残る時間を過ごします。	1回


事業名	目的・内容	実施時期・回数
(鑑賞事業)	目的	実施時期
クリスマスコンサート	活動している音楽団体の協力を得て、クリスマス音楽を中心に演奏をしてもらい、鑑賞します。	12月
	内容	回数
	地域で活躍している音楽団体の演奏でクリスマスの1日を楽しんでいただく事業です。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(鑑賞事業)	目的	実施時期
シニア演劇 シニア活躍のまち	地域で活動しているシニア世代を中心に構成している演劇団体の公演を鑑賞し、シニアパワーをもらいます。 	3月
	内容	回数
	シニア劇団の活動の成果を、地域のお客さまに観劇していただきます。	1回

本郷地区センター自主事業別計画書(単票)

(様式4)

団体名 (特非)さかえ区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(健康増進事業)	目的	実施時期
楽しいストレッチ教室 	インストラクターからストレッチを習い健康維持と転倒事故予防法を図ります。	11月
	内容	回数
	地域で活動している講師を招き、楽しくストレッチを学び、健康維持と転倒事故予防を図る方法を習います。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(健康増進事業)	目的	実施時期
アロマセラピー	アロマの効用を学ぶ。	7月
	内容	回数
	地域で活動している講師を招き、アロマによるリラクゼーション効果を学び、日常の生活を豊かに過ごすご提案をいただきます。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(食育事業)	目的	実施時期
季節を楽しむ家庭料理 ～春の味覚～	栄養価の高い季節の食材やその時期の行事を知り、家庭の食事を楽しみます。	2月
	内容	回数
	春の旬な食材や行事に合わせた簡単に作れる家庭料理のレシピを紹介し、調理、会食を楽しみます。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(食育事業)	目的	実施時期
味噌できれいになる。 ～初心者向けの味噌づくり	和食料理の原点である味噌の手づくりを体験し、家庭料理に生かします。	6月
	内容	回数
	伝統の食材である、味噌の作り方を学び、美容・健康のためのレシピを紹介し、調理、会食を楽しみます。	1回

本郷地区センター自主事業別計画書(単票)

(様式4)

団体名 (特非)さかえ区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(食育事業)	目的	実施時期
風邪ぎみの時の薬膳料理 ～冬の味覚～	風邪の流行シーズンに薬膳料理で体力をつけ、風邪を撃退するスタミナ料理をつくります。	1月
	内容	回数
	風邪のシーズンに栄養価の高い薬膳料理で風邪を撃退する体力をつけます。	1回



事業名	目的・内容	実施時期・回数
(学習支援事業)	目的	実施時期
夏休み自由研究	小学生の夏休みの宿題になる課題を、楽しく学びます。	8月
	内容	回数
	地域で活動している方を講師に招き、夏休みの自由研究として発表できる課題を教えてください。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(学習支援事業)	目的	実施時期
はじめての陶芸体験 (全2回)	子どもたちが陶芸の楽しさを体験します。	7月
	内容	回数
	陶芸団体の協力で、土をこね、手びねりで作陶します、その後色付けも行い、思い思いの器や小物を作ります。	2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(食育事業)	目的	実施時期
父の日の贈り物	季節の行事を楽しみます。	6月
	内容	回数
	日頃の感謝をこめて、お父さんに思い出に残る作品を作って贈ります。	1回

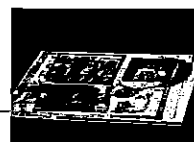
団体名 (特非)さかえ区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(食育事業)	目的	実施時期
キッズキッチンくらぶ パスタ	子どもたちが衛生面や栄養面に気をつけて料理作りを楽しみます。	8月
	内容	回数
	包丁の使い方を学びながら、パスタとデザートを作ります。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
(食育事業)	目的	実施時期
キッズキッチンくらぶ パン	子どもたちが季節の行事のお菓子作りを楽しみます。	12月
	内容	回数
	クリスマスのパン作りをします。	1回



事業名	目的・内容	実施時期・回数
(趣味・いきがい事業)	目的	実施時期
敬老の日 ～スクラップブックを作る	敬老の日に、プレゼント用のスクラップブックを作ります。	9月
	内容	回数
	敬老の日にお年寄りに喜ばれるようなスクラップブックの作品を作り、記念にプレゼントします。	1回



事業名	目的・内容	実施時期・回数
(趣味・いきがい事業)	目的	実施時期
クリスマスリースづくり みどりアップ計画	クリスマスシーズンに、リース作りを学び、花好きな方の交流の場とします。	12月
	内容	回数
	自分の部屋にあった、クリスマスリース作りを学び、楽しむ講座です。	1回



単独団体名・共同事業体名	
施設名	横浜市本郷地区センター

平成28年度収支予算書（兼指定管理料提案書）

I. 指定管理料

(単位：円)

提案額 (a)	26,076,000
※区指定上限額 (b)	26,609,000
差引 (a) - (b)	▲ 533,000
提案額の区指定上限額に対する割合 (a) / (b)	98.0%

指定管理料提案額＝小計【イ】を記入
※区指定上限額 (b) の範囲内で提案してください。

◆今後の市の方針により指定管理者と協議することになりますが、実際に市から支払う金額は、提案額 (a) に前々年度の利用料金収入に対する消費税及び地方消費税の増税分 (3%) の補てん額を加えたものとなる見込みです。

II. 平成28年度収支予算書（総括表）

1 収入の部

項目	合計金額 (単位：千円)	備考
利用料金収入 [A]	2,860	
自主事業収入 [B]	300	
雑入 [C]	1,341	
小計【ア】 ([A]~[C])	4,501	施設運営収入の計
指定管理料① [D]	25,122	【ウ】 - 【ア】
指定管理料② (ニーズ対応費分) [E]	954	[A] × 1/3
小計【イ】 ([D]~[E])	26,076	指定管理料の計
収入合計 (【ア】 + 【イ】)	30,577	

2 支出の部

項目	合計金額 (単位：千円)	備考
人件費 [a]	18,752	
事務費 [b]	2,669	
自主事業費 [c]	800	
管理費A (光熱水費等) [d]	600	
管理費B (保守管理費等) [e]	2,794	
公租公課 [f]	1,400	
事務経費 [g]	2,608	
小計【ウ】 ([a]~[g])	29,623	施設管理運営経費の計
ニーズ対応費 [h] (= [E])	954	[E]と同額になります。
小計【エ】 ([h])	954	ニーズ対応費の計
支出合計 (【ウ】 + 【エ】)	30,577	

※金額は、消費税及び地方消費税 (8%) 込みの額を記載してください。

※現在の消費税及び地方消費税は8%ですが、現段階では利用料金は据え置き (消費税及び地方消費税5%の内税) としています。

単独団体名・共同事業体名	
施設名	横浜市本郷地区センター

平成28年度収支予算書

1 収入の部内訳 (指定管理料除く)

(単位:千円)

	項目	内容等	金額		
利用料金収入	1階会議室	$1,314,177 \times 0.9 \times 53\% \times 750$ 円	ア	470	
	2階1号会議室	$1,314,177 \times 0.9 \times 60\% \times 540$ 円	イ	383	
	2階2号会議室	$1,314,177 \times 0.9 \times 60\% \times 750$ 円	ウ	532	
	料理室	$1,938,177 \times 0.9 \times 25\% \times 420$ 円	エ	183	
	和室	$1,314,177 \times 0.9 \times 35\% \times 570$ 円	オ	236	
	大集会室	$1,314,177 \times 0.9 \times 80.0\% \times 510$ 円	カ	483	
	工芸室	$1,314,177 \times 0.9 \times 63\% \times 510$ 円	キ	380	
	陶芸室	$1,314,177 \times 0.9 \times 77.6\% \times 210$ 円	ク	193	
			ケ		
		小計		[A]	2,860
自主事業収入	参加費	教材費・材料費	コ	300	
			サ		
			シ		
			ス		
			セ		
		小計		[B]	300
雑入	コピー・印刷代		ソ	800	
	自動販売機売上手数料		タ	500	
	その他	栄刊行物販売・栄フィルムモニター販売手数料等	チ	41	
			ツ		
			テ		
			ト		
		小計		[C]	1,341

小計【ア】	施設運営収入計	4,501	[A]～[C]
-------	---------	-------	---------

※金額は、消費税及び地方消費税(8%)込みの額を記載してください。
 ※利用料金収入については、現段階で据え置かれている利用料金(消費税及び地方消費税5%の内税)から見込んだ額を記載してください。

単独団体名・共同事業体名	
施設名	横浜市本郷地区センター

平成28年度収支予算書

2 支出の部内訳 (ニーズ対応費除く)

(単位:千円)

	項目	内容等	金額	
人件費	常勤職員	館長1名副館長2名分給与・通勤費・社会保険料等	ア 12,584	
	時給スタッフ	スタッフ8名(午前2名・午後1名・夜間1名)賃金等	イ 6,168	
			ウ	
	小計		[a] 18,752	ア~ウ
事務費		消耗品・リース料・図書購入費・通信費・備品購入費・印刷製本費・使用料及び賃借料・施設賠償保険等	[b] 2,669	
自主事業費			[c] 800	
管理費A	電気料金		エ 0	
	ガス料金		オ 0	
	上下水道料金	26年度実績参考	カ 600	
	小計		[d] 600	エ~カ
管理費B	修繕費	1件60万未満の修理	キ 1,384	
	清掃	日常清掃等	ク 1,100	
	消防設備		ケ 0	
	機械警備		コ 0	
	空調設備	フィルター及び空調ファン清掃	サ 150	
	エレベーター		シ 0	
	自動ドア	定期点検	ス 52	
	電気保守管理点検	いす昇降機 定期・保守点検	セ 61	
	非常用放送設備		ソ 0	
	害虫駆除		タ 0	
	植栽管理		チ 0	
	設備総合巡視点検		ツ 0	
	その他	ウォータークーラー水質検査、廃棄物処理等	テ 47	
			ト	
			ナ	
		ニ		
小計		[e] 2,794	キ~ニ	
公租公課		消費税・法人市県民税	[f] 1,400	
事務経費	(労務、経理、契約、職員研修など)		[g] 2,608	
小計【ウ】	施設管理運営経費計		29,623	[a]~[g]

※金額は、消費税及び地方消費税込(8%)込みの額を記載してください。

※公租公課欄には、仕入税額控除後の消費税及び地方消費税見込額、その他税額を記載してください。